

2025 年度管理責任者講習会・フォローアップ研修 アンケート結果（報告）

制度運営委員会
SIAA 事務局

日頃より SIAA の活動にご協力いただき、ありがとうございます。また、管理責任者講習会・フォローアップ研修にご出席いただき、ありがとうございました。

皆様にご協力いただいたアンケート結果を報告いたします。皆様からの SIAA へのご要望も踏まえ、今後の講習会等に反映していきたいと考えています。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

なお、皆様から頂いたコメントやご要望等の全てをアンケート結果に記載している訳ではありません。多くの方からのご意見等を中心に記載しております。ご了承ください。

1. 参加者数とアンケート回答者数

参加者総数：431 名

内訳；【会場参加】AM の管理責任者講習から参加：28, PM のフォローアップから参加：36

【オンライン】 AM の管理責任者講習から参加：99, PM のフォローアップから参加：194

【後日視聴】AM の管理責任者講習から参加：27, PM のフォローアップから参加：47

アンケート回答者数：178 名（41.3%）

2. 受講形式

参加者全体の 68%の方がオンラインでの参加、15%の方が会場参加で、昨年同様、オンライン参加の方が大多数でした。

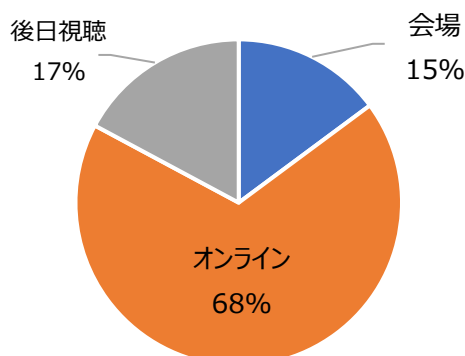
今回初めて試みた後日視聴は 17%でした。当日、ご都合が悪い方が後日視聴できたことは良かったのではないかと思います。

3. 管理責任者としての経験年数

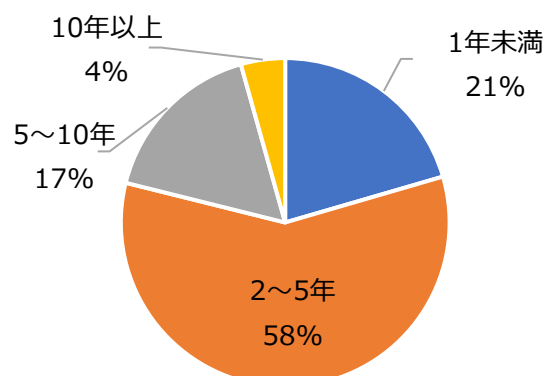
経験年数 2～5 年の方が最も多く、半数以上でした。

また、5 年以上の方も 21%いらっしゃり、管理責任者を長く続けていただいていることも分かりました。

参加形式

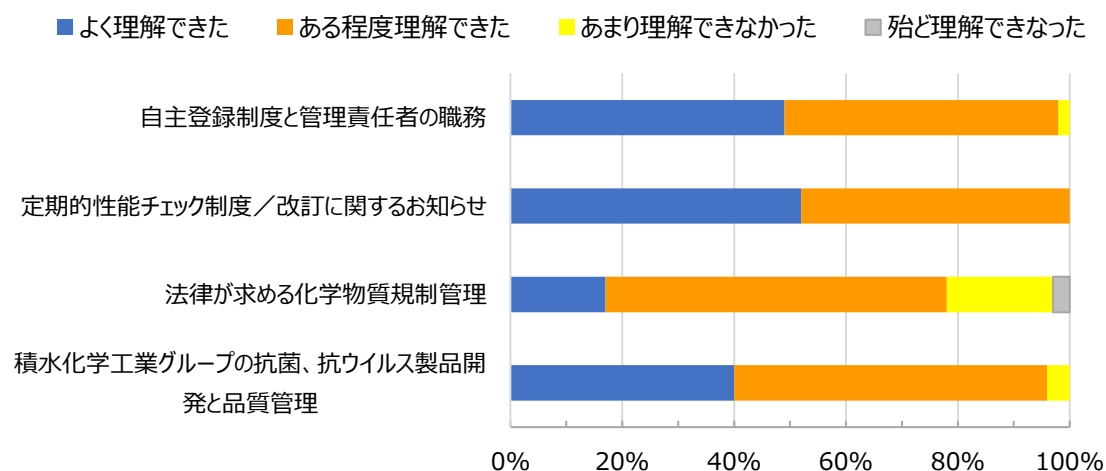


管理責任者の経験年数



4. テーマの理解度

各テーマの理解度

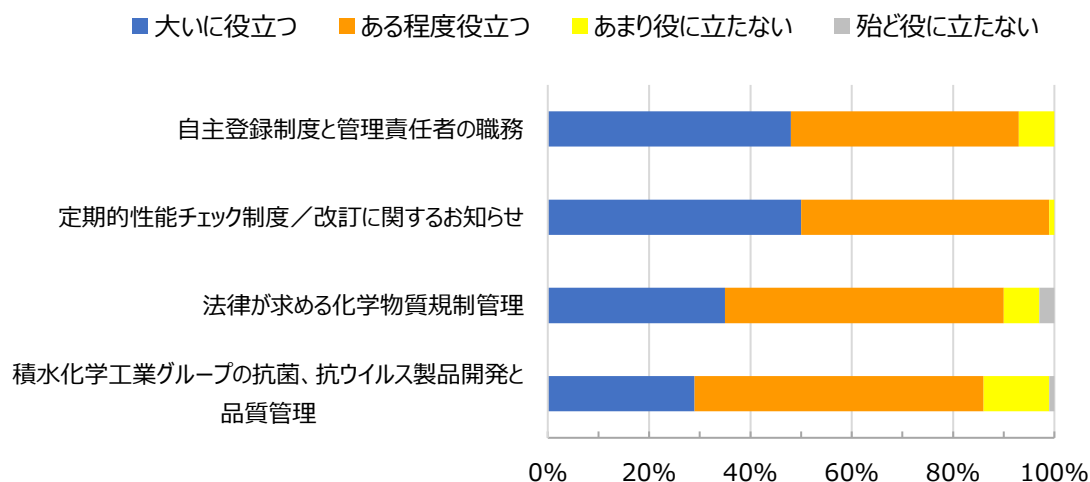


「自主登録制度と管理責任者の職務」、「定期的性能チェック制度／改訂に関するお知らせ」、及び「積水化学工業グループの抗菌、抗ウイルス製品開発と品質管理」は、「よく理解できた」と「ある程度理解できた」とご回答いただいた方は、いずれも 95%以上でした。

「法律が求める化学物質規制管理」も約 77%の方が、理解できたとのご回答でしたが、「あまり理解できなかった」と「理解できなかった」を合わせると約 23%でした。会社によっては品質管理部門と化学物質管理部門を分けている場合も多く、化学物質管理に馴染みのない方にとっては、やや難しかったと思われます。

5. お役立ち度

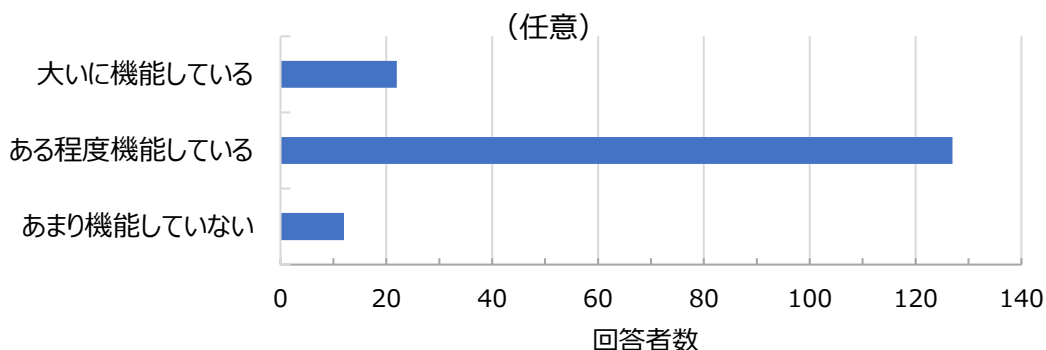
各テーマのお役立ち度



「大いに役立つ」と「ある程度役立つ」を合わせると、いずれのテーマもほぼ 90%以上でした。「法律が求める化学物質規制管理」は、理解できた方が約 77%でしたが、お役立ち度は約 90%の方が、役に立つとのご回答でした。化学物質管理に関わるテーマは、やや難しかったが、役に立つとお考えの方も多かったためと思われます。

6. 自社の品質管理体制や活動

自社の品質管理体制や活動は、どの程度機能していると思われますか。



約 80%の方が、「ある程度機能している」(改善点は幾つかあるが、全体としては上手くいっている)との回答でした。殆どの方が概ね上手くいっているが、現状に満足せず更に上のレベルを目指してと思われます。

SIAA としても、品質管理に関わる活動を中心としたセミナーも検討していきます。

7. 管理責任者講習会やフォローアップ研修会で取り上げて欲しいテーマを、具体的に教えてください。【任意】

取り上げて欲しいテーマとして、大きく分けて、法規制、事例紹介、技術等がありました。具体的には、薬機法・景表法、バイオサイド規制、開発事例(秘話)、抗菌等の新技術等でした。また、ガイドラインの基礎解説や SDS の基本事項等の入門編や安全性に関わるご要望もありました。

SIAA として、できるだけ皆様のご希望に沿えるよう、検討を進めます。なお、技術的な内容は、2025 年からスタートした SIAA 技術講習会でも検討します。

➤ 法規制

- ✓ 薬機法・景表法に関して更に詳しく。(できれば弁護士の方に)

⇒ (コメント): 2022 年に弁護士による「抗菌・防カビ・抗ウイルス製品の表示に関わる法的規制と注意点」の講演が、2024 年には消費者庁表示対策課による「景表法の基本的な考え方」「最近の違反事例」の講演がありました。この分野はコンプライアンスの意味でも非常に重要であり、会員の皆様も高い関心があると認識していますので、定期的に企画するよう、検討していきます。

- ✓ 国内外含めて法律が改正された(される予定)際には取り上げてほしい。特に海外の法規制。

⇒ (コメント): 今後、SIAA-HP 等でも会員の皆様に情報発信できるよう、検討します。

- ✓ 化学物質規制管理関連。

- ✓ 殺生物剤の規制。

⇒ (コメント): 2023 年に「抗菌剤の化学物質規制 EU-BPR・米国-FIFRA を中心に」の講演がありました。バイオサイドに関わる規制を正しく認識しておくことは非常に重要ですので、改めて検討します。

➤ 事例紹介、開発秘話

- ✓ 今回の積水化学のように他社開発事例は参考になる。(複数)
- ✓ 抗菌、抗ウイルス、防カビの新技術や製品の開発経緯。(複数)
- ✓ SIAA 表示による、消費者への安心提供のための活用例。
- ✓ 弊社は印刷分野で 抗菌・抗ウイルスのニスの使用の為、「表面加工に特化」した事例をぜひ。

- ✓ SIAA マークを取得したことにより、付加価値が向上した具体例。
- ✓ 会員企業様の SIAA 認定製品を紹介（コンセプトや使われ方、メリット等）。抗菌剤に関して、どのような素材があるのか。
- ✓ 会員企業での加工機能を維持するための品質管理の状況を共有したい。
- ✓ 抗菌、抗ウイルス製品の開発秘話や開発経緯などのセミナーを聴講したい。今回の化学薬品については非常に専門的で、当社の業務と結びつけて考える事が難しい内容だった。
- ✓ インキメーカー様の話が聞きたい。
⇒（コメント）：昨年度、東洋インキ株式会社様による「抗菌・抗ウイルスニスの開発と品質管理」の説明があり、会報誌 7 号にも記載されています。会報誌は SIAA-HP で公開されていますので参考にしてください。機会があれば、他のメーカー様の話も検討します。
- ✓ 定期性能チェックの不適合・是正処置の事例紹介。
- ✓ 4 コマ目は、時間を短くても良いので多くの企業の実例を聞いてみたい。

➤ 技術

- ✓ 抗菌剤が年々強化されているので混ぜる抗菌剤を見直す必要があると思う。新しい抗菌剤の紹介をお願いしたい。
- ✓ 紙印刷物に対する試験方法。（開発の進捗状況）
- ✓ 吸収減反（用紙）における定期的性能チェックの管理手法。
- ✓ 今回は登録製品に関するお話が多かったですが、登録剤に関するお話もお聞きしたい。
- ✓ 各素材による抗菌剤の含有量の説明。

➤ その他

- ✓ すみませんアンケートの回答について、
「8-4.【法律が求める化学物質規制管理】の講習内容について
質問：欧州 BPR では、薬品を含むような化学雑巾は加工製品として規制対象になる」とい質問について、動画を見る限り化学雑巾は Article ではなく Mixture だとおっしゃっているので、化学雑巾は加工製品ではない...という点で NO を回答としたのですが、私のこの解釈があっているのか...答えを知ることはできるのでしょうか。
⇒（コメント）：ご理解の通りです。化学雑巾は化学物質を入れた容器と考えるので、加工製品扱いにはなりません。
- ✓ 貴団体の柔軟性というのか、やっていくぞ、という意気込みを感じとれた。今後も、様々な計画があるようなので、出来る限り参加したい。
⇒（コメント）：ありがとうございます。ご期待に応えられるよう、会員の皆様への情報発信を更に進めていきます。
- ✓ 管理責任者の職務を理解するにあたり、ガイドラインの基礎解説や SDS の基本事項を学べるような入門的講習があるとよい。
- ✓ 今回のフォローアップ研修の内容が勉強になりましたので、制度・規制・実際の商品事例等。
- ✓ 抗菌処理製品だけではなく抗菌処理を施しに行った際の品質をどう担保するのか。
- ✓ 抗菌・抗ウイルス試験機関の紹介。
⇒（コメント）：SIAA-HP に「試験事業者紹介」のページを設けていますので、参考にしてください。
- ✓ 定期的性能チェック制度の SIAA へ送る際の現物（サンプル）を見るなど、講義形式と混ぜると理解が深まるのではないかな。
- ✓ 化学物質の安全性に関する講習会をして欲しい。
⇒（コメント）：2023 年に「安全性試験について ～安全性評価の基本と SIAA で規定されている生物学的安全性試験ご紹介～」の講演がありました。安全性は、抗菌等の機能と両輪を

なすものと考えていますので、SIAA として安全性に関する情報提供を検討します。

- ✓ 今後も増加傾向になる海外企業参入に対する SIAA の考え方。
- ✓ 抗菌市場の動向、ユーザー意識調査、コロナ後の消費者意識調査、抗菌市場のビジョンロードマップ。

8. SIAA の活動に関し、ご要望があれば教えてください。【任意】

認知度向上のための広報活動に関するご要望が多くありました。広報委員会で広報のあり方や活動方針等を見直し、SIAA 広報戦略を立て、本年度から新たな活動を進めています。

また、産官学の学へ働きかけ等の視点のご提案もありました。

➤ 認知度・広報活動

- ✓ 「SIAA のロゴがある」が消費者の商品の選択、購入の大きな理由づけとなる様な広報活動をこれからも続けて欲しい。(複数)
- ✓ SIAA の活動などは企業としては認知されてるが一般の方々にも知名度が上がるとよい。(複数)
- ✓ WEB 広告などデジタルに対応した認知活動を増やしてほしい。
⇒(コメント): 広報活動の一環として、SIAA 公式 SNS チャンネル(YouTube、X、Instagram、TikTok) を開設しています(HP のお知らせ欄に記載)。一般消費者の皆様に、今まで以上に SIAA や SIAA マークを知っていただけるよう、活動を続けていきます。
- ✓ さらに海外での認知拡大をお願いしたい。
⇒(コメント): 現中期計画の方針の一つに「SIAA システムのグローバル化」があり、国際展開委員会で継続して活動しています。
- ✓ SIAA 会員限定のマークなどがあれば HP 等で会社及び SIAA の認知度、社会貢献度が上がると思う。
- ✓ 日常生活の中で SIAA のロゴを見かける事も増えており、認知度も上がっている様に感じる。
- ✓ コロナ禍を経て感染症対策は一般の方でも耳にすることが増えてる。抗菌と記載していればウイルスにも効果があると錯覚する方も実在している。
⇒(コメント): 一般消費者の方々に、菌とウイルスの違いや、抗菌・抗ウイルスの意味等を正しくご理解いただくことも重要な課題であると思います。一般消費者の方々へも SNS 等で伝えていくことを検討します。
- ✓ SIAA への加入やマーク保持が、ビジネス上の価値として更に昇華すること

➤ その他

- ✓ 現産官学のうち 学の部分の普及啓発が欲しいです。現状高校や大学ではあまり意識して取り上げてもらえません。職員もさることながら学生への活動が裾野を広げる鍵では？
- ✓ 抗菌・抗ウイルス製品の市場投入には難航しておりますが、メリットを感じて頂く様な提案をするために引き続き会員として取り組んでいきたい。
- ✓ 文系出身ということもありまして、もう少し SIAA が身近に感じられる説明をお願いしたい。
- ✓ 抗菌性試験の精度向上について検討を開始されたと伺っています。委員会報告会等でのご報告を楽しみにしています。
- ✓ 業種ごとの会員数や材料マーカ数: 加工製品企業数などの統計があれば取引先への活動依頼に繋がるかもしれない。
- ✓ 大阪での開催再開を希望。

以上